

- （一財）運輸総合研究所では、本年2月17日に「航空分野の2050年カーボンニュートラルに向けた取組みに関するセミナー～SAF（持続可能な航空燃料）を制するものは世界を制す～」を開催。
- セミナー終了後、参加者に対してSAFに関するアンケート調査を実施。

セミナー概要

日時：2022年2月17日（木）13：30～16：30

場所：ベルサール虎ノ門+オンライン配信

<基調講演>

「カーボンニュートラルに向かう世界航空分野への視角」
 高村ゆかり 東京大学未来ビジョン研究センター教授

<講演>

「持続可能な航空燃料（SAF）の導入促進に向けた取組み」
 大塚 大輔 国土交通省航空局大臣官房参事官（航空戦略担当）

「国産SAFの果たす役割」

中川由起夫 日本航空株式会社執行役員 調達本部長

<報告>

「我が国におけるSAFの普及促進に向けたサプライチェーン全体の課題・解決策（報告）」

松坂 真史 運輸総合研究所研究員

<ディスカッション>

コーディネーター：山内 弘隆 運輸総合研究所所長

<https://www.jttri.or.jp/events/2022/seminar220217.html>

参加者数等

参加・視聴者	1,012名（会場 31名／オンライン 981名）
（申込み	1,197名（会場 59名／オンライン1,138名））
参加率	85%（会場 53%／オンライン 86%）
平均視聴時間	150分
アンケート回答者	410名（41%）

アンケート項目

- 本日のセミナーに参加する前にSAFについて知っていましたか。（知っていた、言葉だけは聞いたことがあった、知らなかった）
- SAFを国内で普及させていくためにはどの分野が課題であると考えますか。（原料調達、製造、規格等（ASTM, CORSIA）、品質管理、空港、その他）
- 上記について、具体的にどのような取組みが重要と考えますか。
- 航空機を利用したあなたの出張や旅行において排出されるCO2について、追加の費用を支払う代わりに、SAFによって削減する機会が提供されれば、利用しますか。（利用したい、どちらかと言えば利用したい、どちらかと言えば利用したくない、利用したくない）
- 上記のように感じた理由を自由にお書きください。